

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
① 計画の名称	白河市における歴史的資源を活かしたまちなか居住の推進と居住環境整備の向上
② 都道府県名	福島県
③ 計画作成主体	白河市
④ 計画期間	平成22年度～平成26年度
⑤ 計画の目標	良好なまちなみ景観の維持、形成を図るために、まちなみ修景、まちなかの環境整備のための拠点となる蔵再生のための改修及び中心市街地に残る白河らしい歴史的なまちなみを形成している建造物についても整備を行なうこと等により、まちなか居住の推進と居住環境整備の向上を図る。
2. 事後評価の内容	
⑥ 実施体制・時期	白河市まちづくり推進課における評価により確定（平成27年9月）
⑦ 事後評価の結果	<p>指標①：「白河市歴史的風致維持向上計画重点区域内における、景観形成ガイドラインに基づき修景を行う、良好なまちなみ景観の維持や形成を目的に整備する住居戸数及び歴史的に価値があると認められる、歴史的なまちなみを形成する建造物の修復整備等を図る戸数」</p> <p>定義：景観形成ガイドラインに基づき修景整備を行なった良好なまちなみ景観の維持および形成を図った住居及び白河らしい歴史的な建造物の件数</p> <p>評価方法：目標値と実績値との数値的判断</p> <p>結果：従前値：0件（22年度当初）⇒目標値：30件（26年度末）⇒<u>実績値：48件</u></p> <p>結果の分析：目標を達成することができた。</p> <p>景観まちづくり協定の締結区域を対象とした修景補助や歴史的風致形成建造物を対象とした保存修景補助を実施したことにより建造物の修景整備が図られた。</p> <p>また、平成22年度に実施した「街なみ環境整備事業（本町北裏地区）」において、本町北裏地区で地元住民らが協議会を立ち上げ、まちづくりについてのワークショップを行ったことでまちなみ景観に対する住民意識を高めることができた。</p> <p>今後も継続してまちなみ景観の維持および形成を図りたい。</p> <p>指標②：「白河市歴史的風致維持向上計画重点区域内における、まちなか居住の推進・居住環境整備の向上による、居住人口数の減少率」</p> <p>定義：集合住宅整備や空き家に対する入居対策を図ることで、向上する居住人口数の減少率</p> <p>（当初現況値）＝$((\text{平成21年居住人口数} \div \text{平成17年居住人口数}) \times 100 - 100)$</p> <p>（最終目標値）＝$((\text{平成26年居住人口数} \div \text{平成22年居住人口数}) \times 100 - 100)$</p> <p>評価方法：目標値と実績値との数値的判断</p> <p>結果：従前値：4.3%（22年度当初）⇒目標値：2.9%（26年度末）⇒<u>実績値：5.2%</u></p> <p>結果の分析：目標を達成できなかった。</p> <p>平成23年度から平成24年度に実施した「優良建築物等整備事業（白河駅前地区）」において、集合住宅「レジデンス楽市-I」を整備した。平成27年2月現在で入居率が100%であり、居住人口は増加したと考えられるが、居住人口の減少率は下がっていない。これは、本計画期間中に発生した東日本大震災による影響や、当市における少子高齢化が計画当初時よりも進行しているためと考えられる。</p>

	<p>指標③：「白河市歴史的風致維持向上計画重点区域内における、まちなか居住の推進・居住環境整備の向上による、居住人口数の減少率」</p> <p>定義：まちなみ景観の維持及び形成、まちなか居住の推進を図ることでまちなかの回遊性が向上し、増加する平日歩行者通行量 (歩行者通行量)=(優良建築物等整備事業により整備した集合住宅の入居者数)×(住民アンケートによるまちなか(市街地)回遊率)×(往復方向)</p> <p>評価方法：目標値と実績値との数値的判断</p> <p>結果：従前値:0人(22年度当初)⇒目標値:52人(26年度末)⇒<u>実績値:35人</u></p> <p>結果の分析：目標を達成できなかった。 本計画に基づき整備した集合住宅「レジデンス楽市-I」への入居率は100%となったが、その供給戸数が計画時の26戸に対して実際は20戸であるため、入居者数が計画見込56人に対して41人となったことが大きな要因である。 また、まちなか回遊率が計画時の47%に対して43%となったことも影響している。</p>
⑧ 結果の公表方法	市のホームページに公表
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨ 今後の住宅施策の取組への反映	白河らしい歴史的なまちなみを形成している建造物の整備やまちなみ修景を続けることで、良好なまちなみ景観の維持、形成を図り、まちなか居住環境を向上させたい。
⑩ その他	修景助成を実施したことにより、実際の修景事例を見た住民の方々から自らも修景に取り組みたいというような声が多く聞かれ、白河らしいまちなみを維持・形成していこうとする住民意識が高まった。

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。